



特許シーズ集 (2025) ver1

株式会社イトーキ

企画本部 経営企画統括部 知的財産推進課

[A:家具シーズ]

- (A-1) フラットバック家具
- (A-2) 使い方を选べるソファ
- (A-3) 使い方を选べるベンチ 【New】
- (A-4) 所定荷重で回転が抑制されるキャスタ
- (A-5) チャイルドセーフティ チェアの巡回抵抗リング 【New】
- (A-6) チャイルドセーフティ チェアの拘束ベルト 【New】
- (A-7) 新しいベッドデスク 【New】

[B:地震対策シーズ]

- (B-1) 地震対策技術 什器の転倒防止装置
- (B-2) 地震対策技術 高耐震間仕切 【New】
- (B-3) 地震対策技術 天井制震間仕切 【New】

(A-1) フラットパック家具

特許番号

特許第6848875号

出願日

2016/10/20

登録日

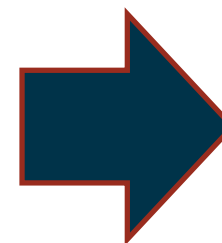
2021/3/8

□ 本技術の採用イメージ

◆ 簡単組立・解体が可能なフラットパック家具

工具レスで、
板材の板厚だけで積み重ね（コンパクトな梱包）が可能な、
板材連結の特許技術

収納家具の筐体に最適！

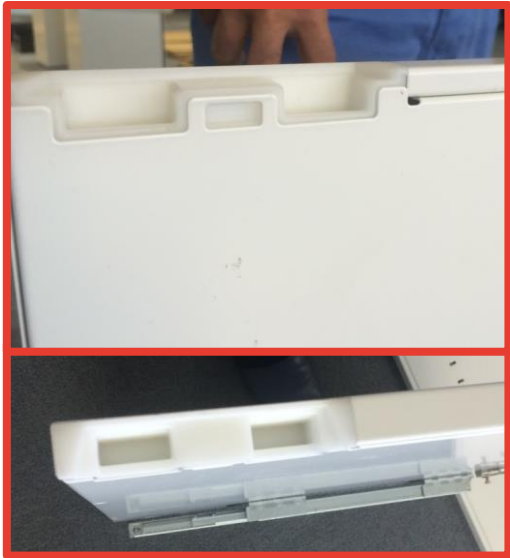


※写真はあまりコンパクトに見えませんが参考です

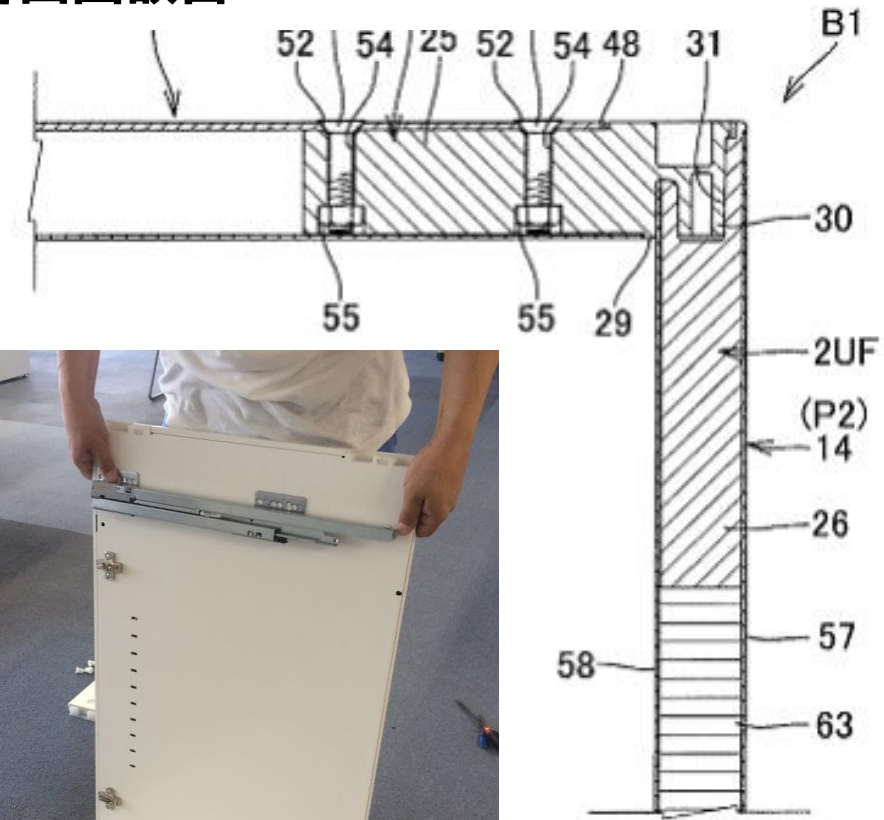
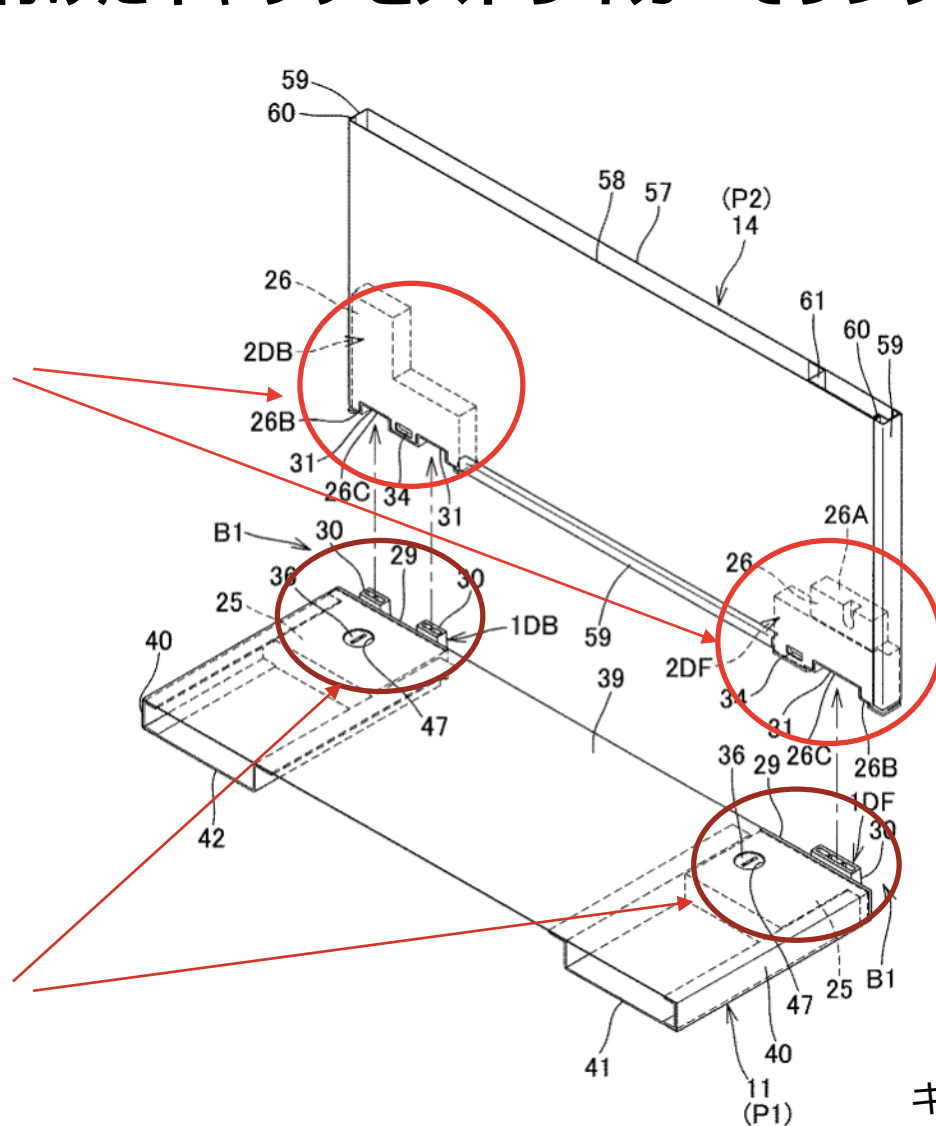
◆組立方法

板の端部同士に取り付けたキャッチとストライカーでワンタッチで凹凸嵌合

キャッチ

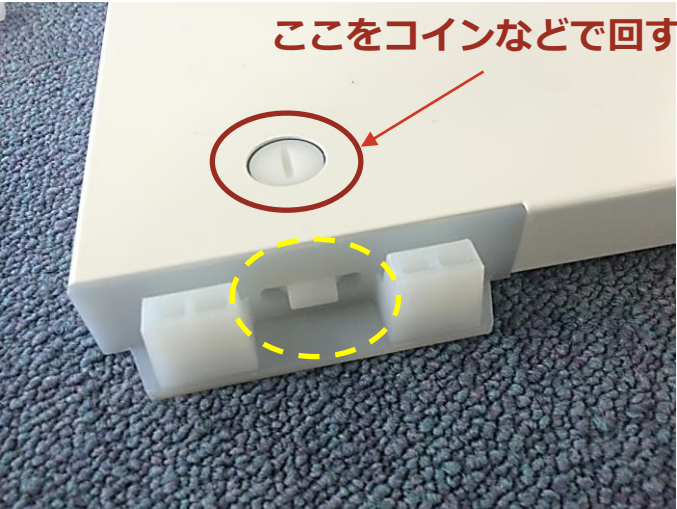


ストライカー

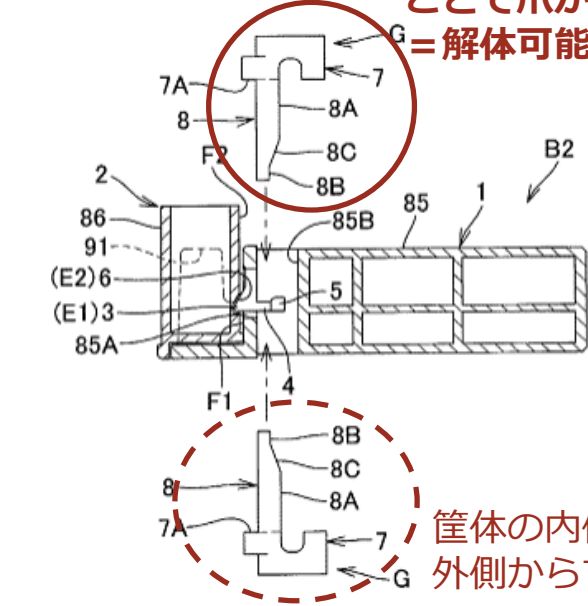


ストライカー（凸部）を備えた底板に対して
キャッチ（凹部）を備えた側板を上から嵌める様子

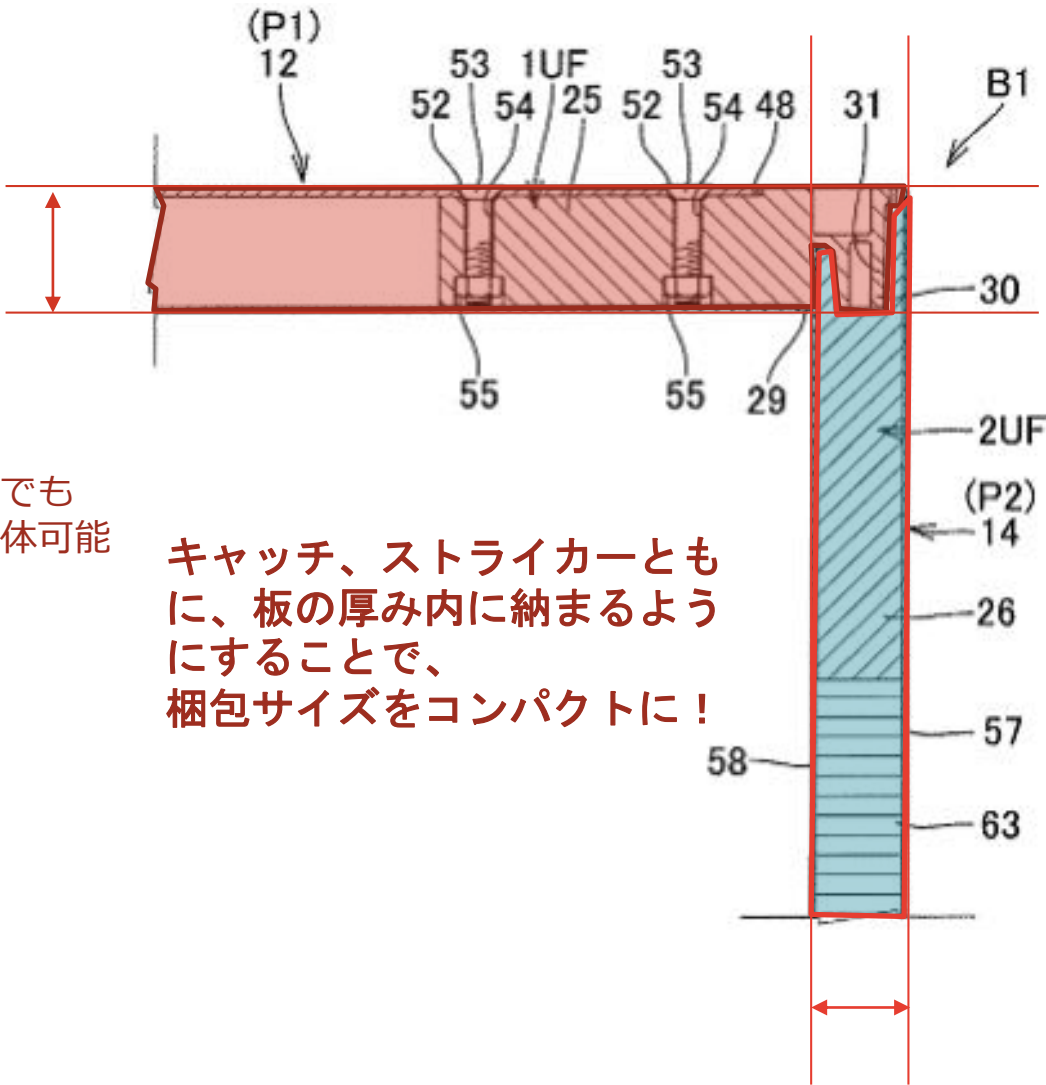
◆解体方法 1



◆解体方法 2



◆梱包サイズのコンパクト化



(A-2) 使い方を選ぶソファ

特許番号

特許第6171652号

出願日

2013/7/16

登録日

2017/7/14

□本技術の採用イメージ



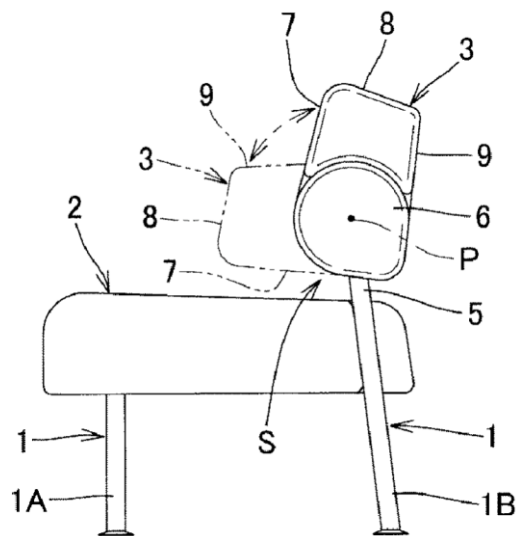
背もたれを回転させて、
色々な用途で使用可能な
ソファ



荷物置きや
肘掛けに



妊婦の方や
子供向けの
背もたれに



特徴①

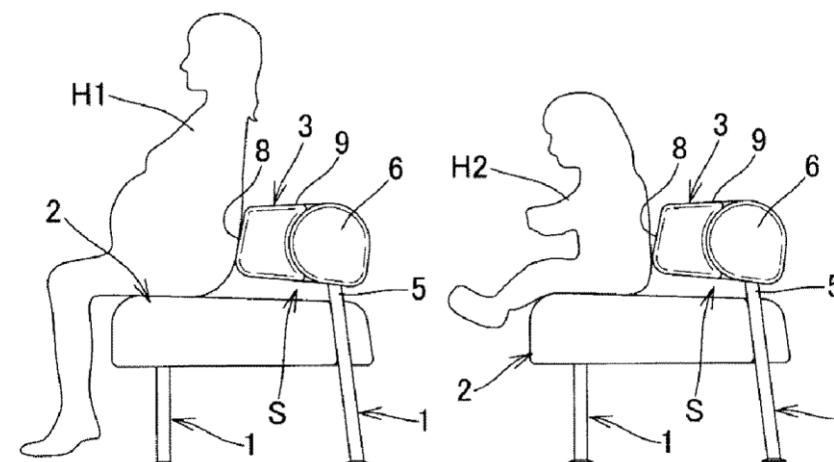
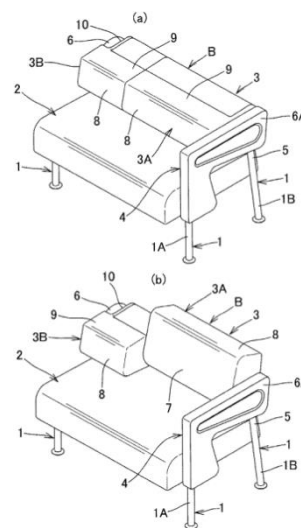
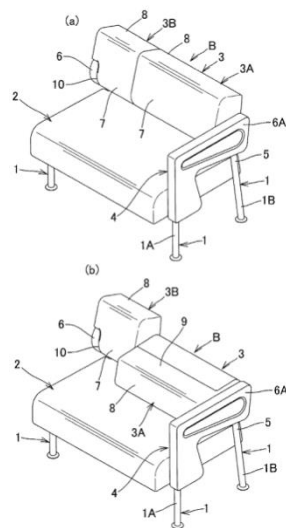
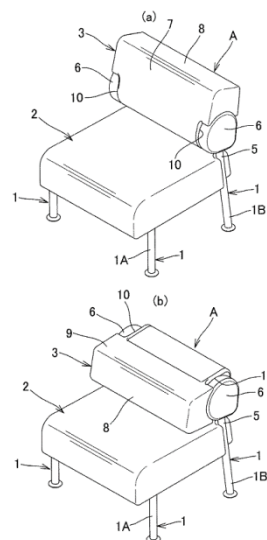
背もたれを回転させることで、座面の前縁から背もたれの距離を変更し、深掛け／浅掛けに対応

特徴②

背もたれを倒した際の背もたれ面（８）を傾斜させることで、浅掛け使用時にも腰を快適にサポート

特徴③

背もたれを倒した状態において、上面（９）をフラットに形成することで、肘掛けや荷物置きとして利用可能



(A-3) 使い方を選ぶベンチ

特許番号

特許第7659161号

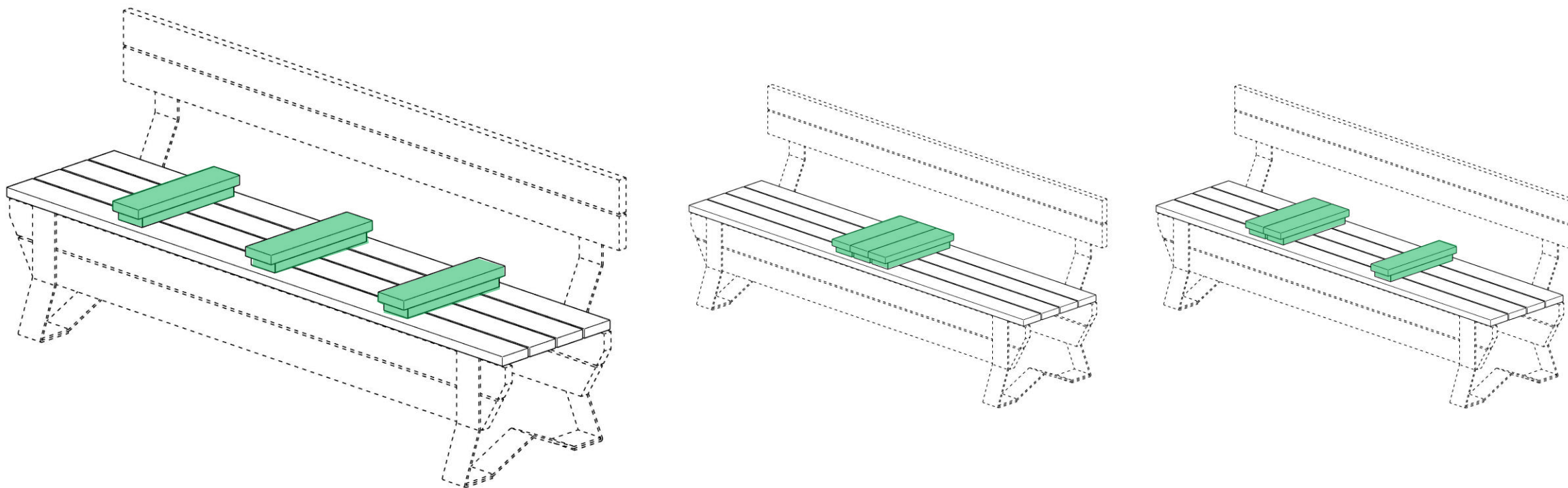
出願日

2021/01/13

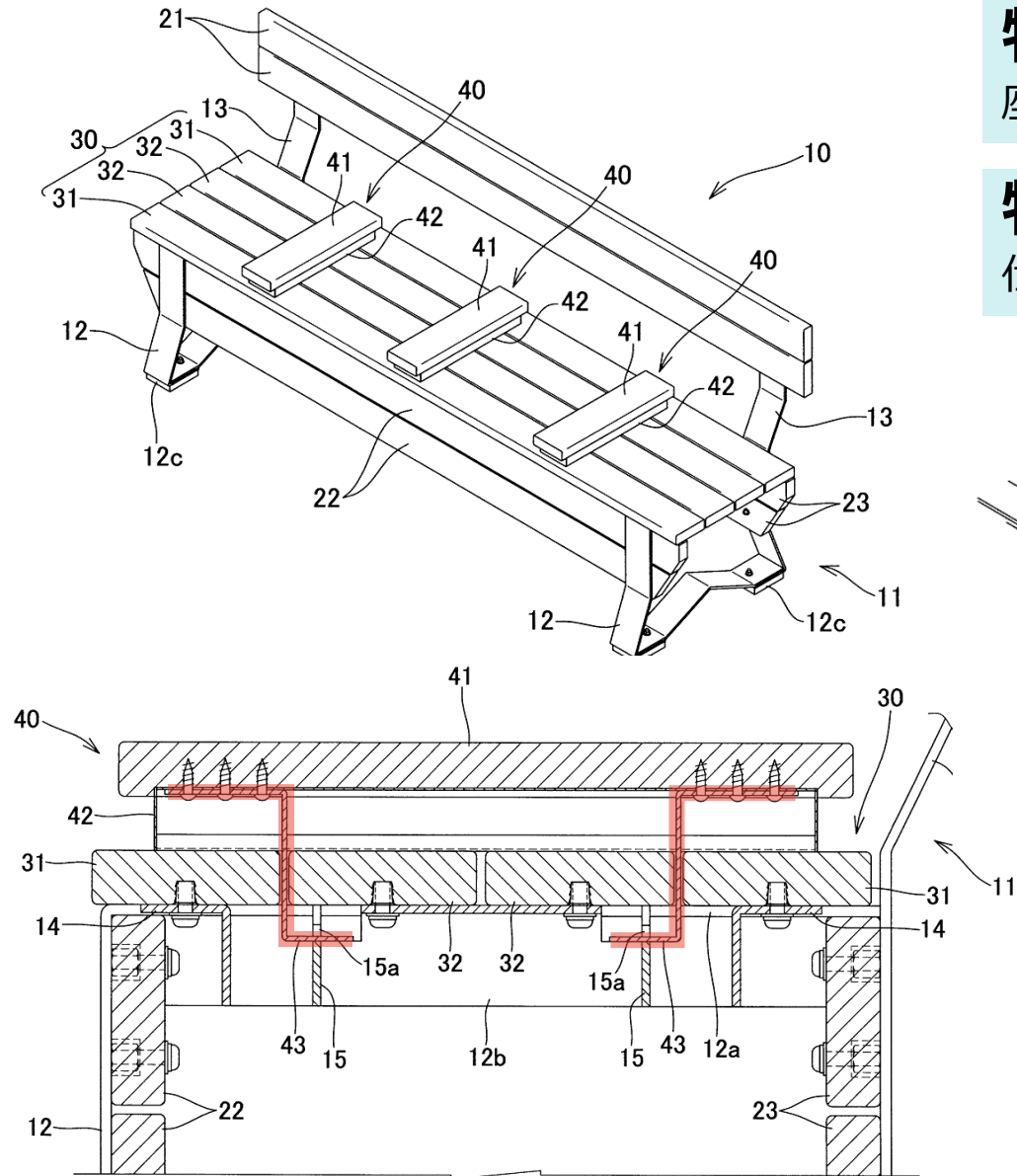
登録日

2025/04/01

□ 本技術の採用イメージ



仕切部材の位置をスライドさせることで
使い方を変えられるベンチ

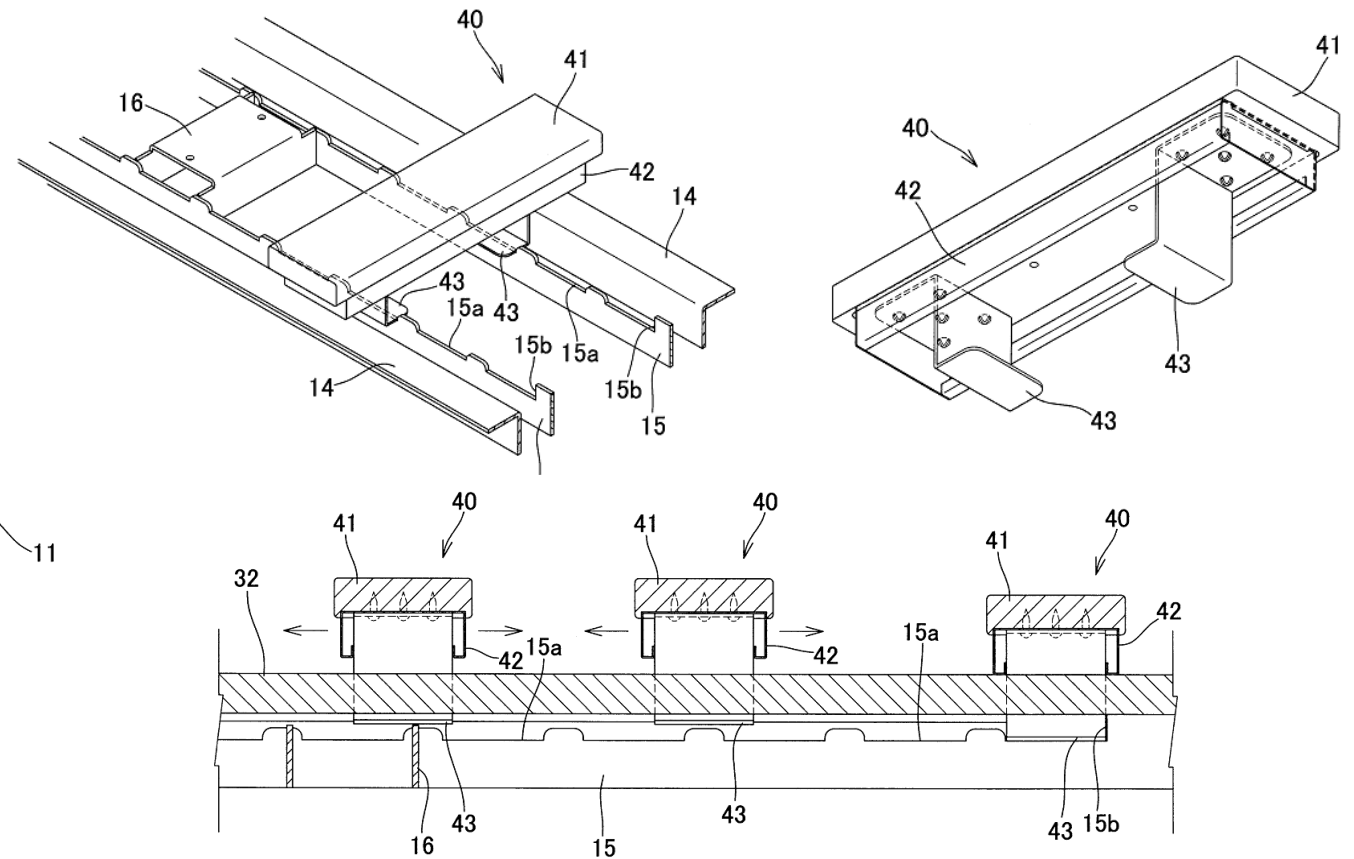


特徴①

座面のスリット上で仕切部材がスライド移動可能

特徴②

仕切部材を持ち上げて係合解除



(A-4) 所定荷重で回転が抑制されるキャスタ

特許番号（出願番号）

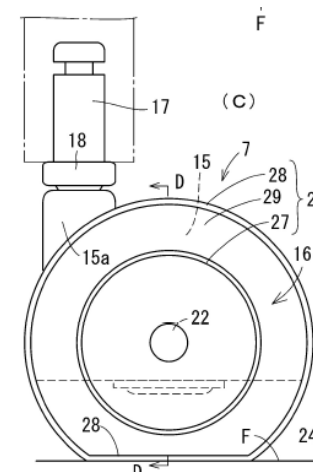
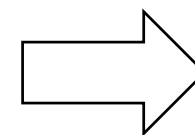
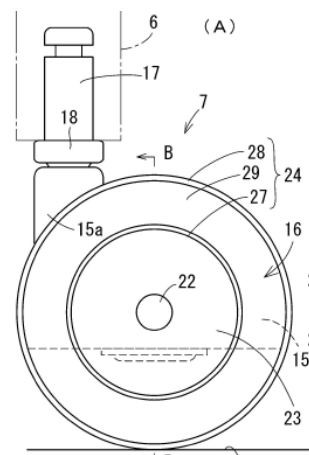
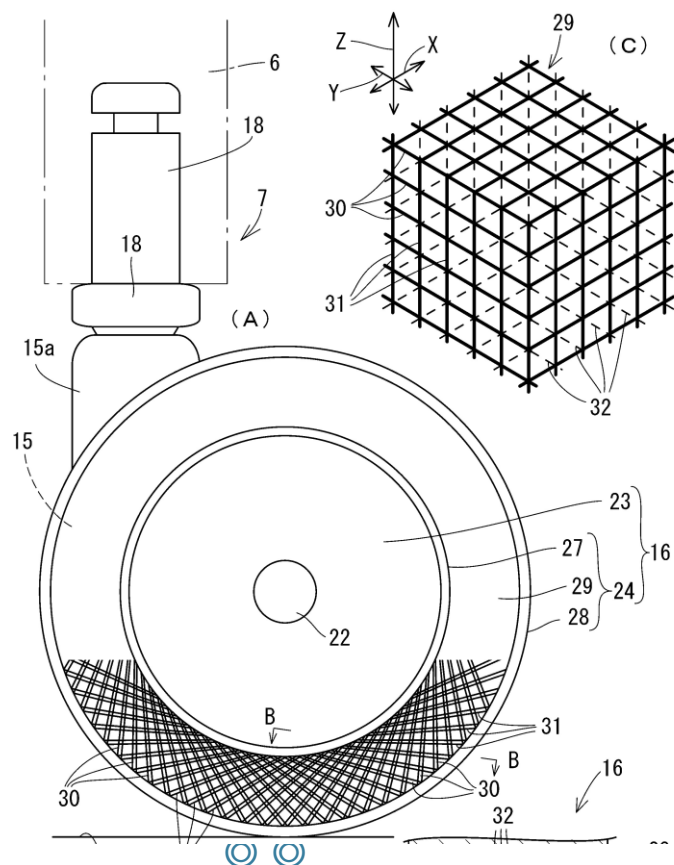
特許第7709338号

出願日

2021/8/30

登録日

2025/7/6



所定の加重が掛かると、設置部（タイヤ）が変形してつぶれ、回転が抑制されるキャスタの技術。

従来技術の課題

人が着座した場合など、所定の加重でキャスタを動かなくする機構は存在するが複雑。

メリット

1. 機構がシンプル

複雑な機構ではなく、タイヤ自体がつぶれ変形することで回転が抑制されるため、製造、組み立て、交換等が容易。

2. 用途の多様性

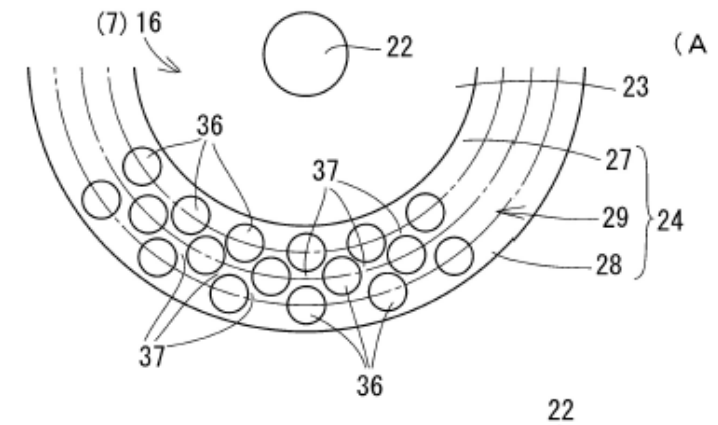
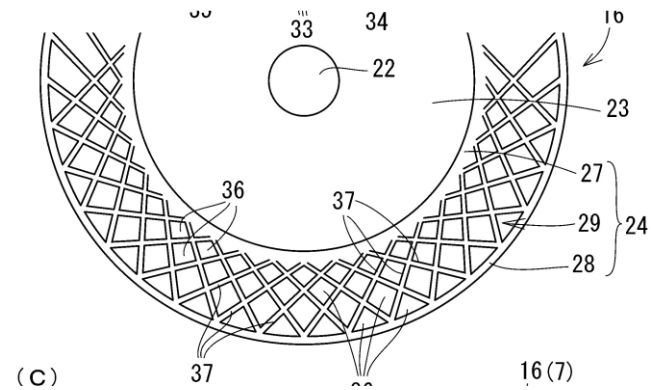
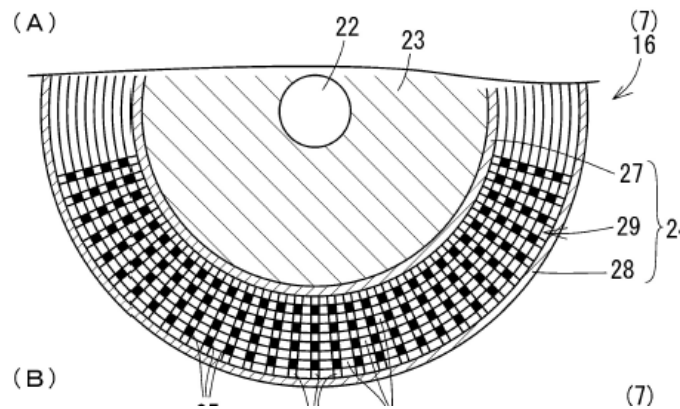
タイヤの内部構造を制御して、変形に必要な加重を調整することにより、様々な漆器・用途で使用可能。



補足

タイヤが変形する加重の調整

→ 様々な3次元構造を設計し、3Dプリンタで印刷することを想定



(A-5) チャイルドセーフティ チェアの旋回抵抗リング ITOKI

特許番号

特願2022-210413

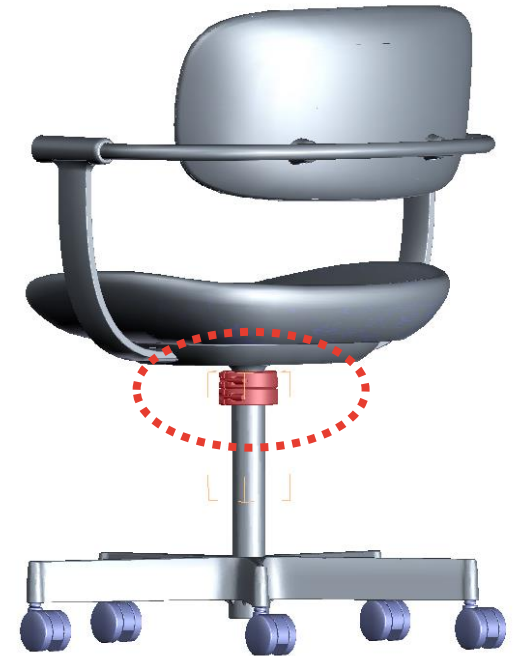
出願日

2022/12/27

登録日

— (未登録)

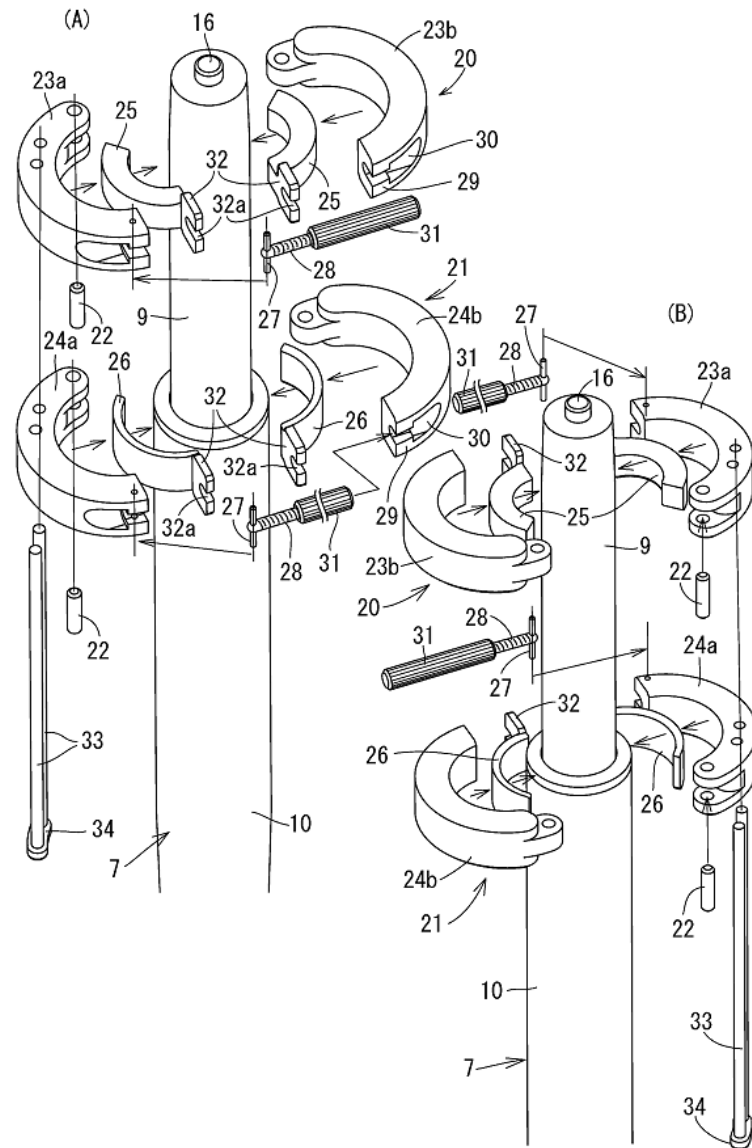
□本技術の採用イメージ



在宅ワークの増加により
オフィスチェアが家庭にも普及

しかし、幼児期（特につかまり立ち期）
の子供がいる親にとっては心配もある

**乳幼児がつかまっても
不意に回転しないようするための
アタッチメント**



特徴①

昇降用ガスシリンダの外筒と内筒の外周面にアタッチメントを取り付けて内筒／外筒の相対回転にブレーキ

特徴②

アタッチメントを付けた状態でも高さ調整は可能



(A-6) チャイルドセーフティ チェアの拘束ベルト

特許番号

特願2022-202203

出願日

2023/12/19

登録日

— (未登録)

□本技術の採用イメージ

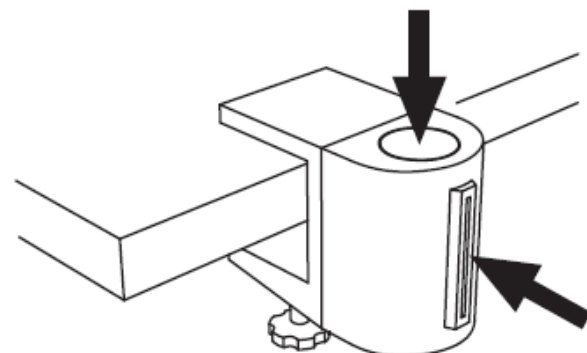


在宅ワークの増加により
オフィスチェアが家庭にも普及。
しかし、幼児期の子供にとっては
回転する椅子は格好の遊び道具。
小さな子供がいる親にとっては心配事も。

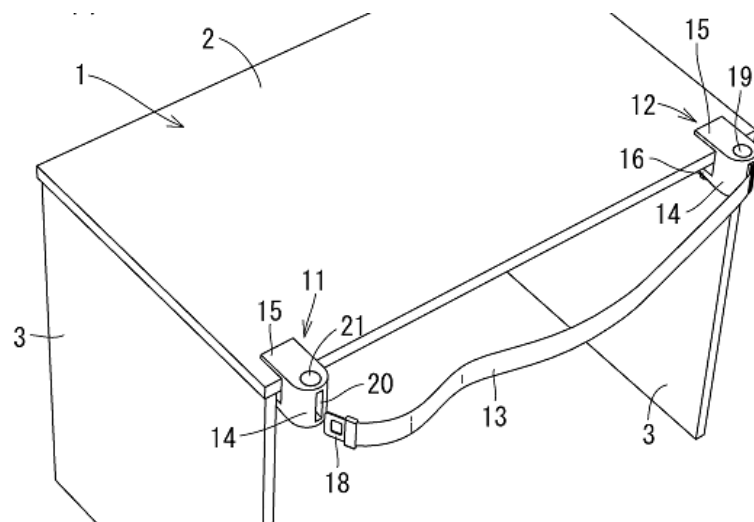
**子供がチェアで遊ばないように
チェアを拘束するベルト**

ベルト受け側

ベルト取り外しボタン
(押すとベルトが抜ける)
(子供の力では解除できない硬さに設定)

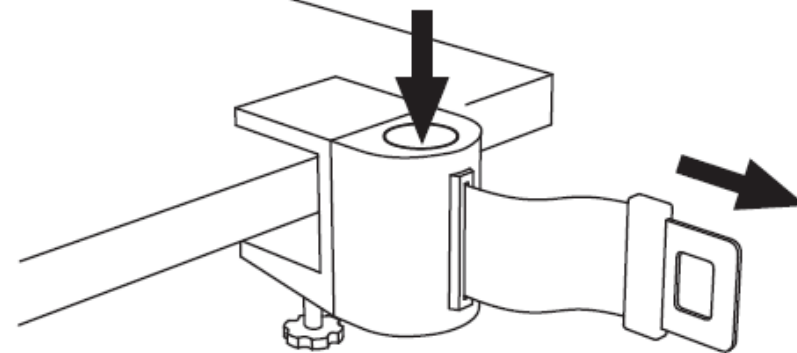


ここにベルトの先端を差し込む

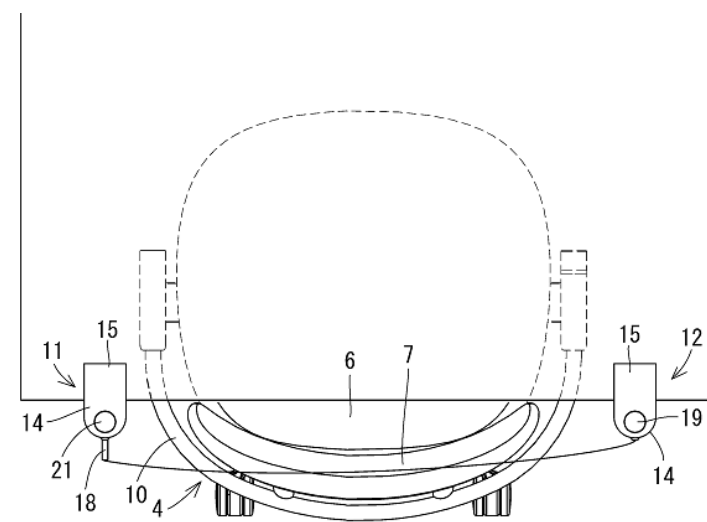


ベルト供給側

ベルト引き出しボタン
(押している間だけベルトが伸縮する)



上部ボタンを押すと、ベルトは自動巻き取り



(A-7) 新しいベッドデスク

特許番号

特願2023-079556

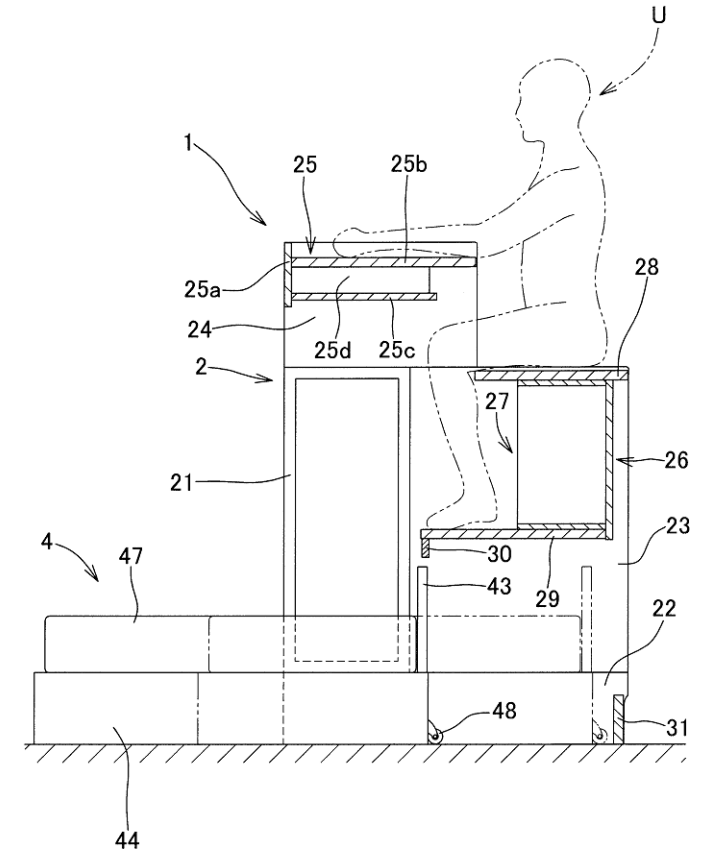
出願日

2023/05/12

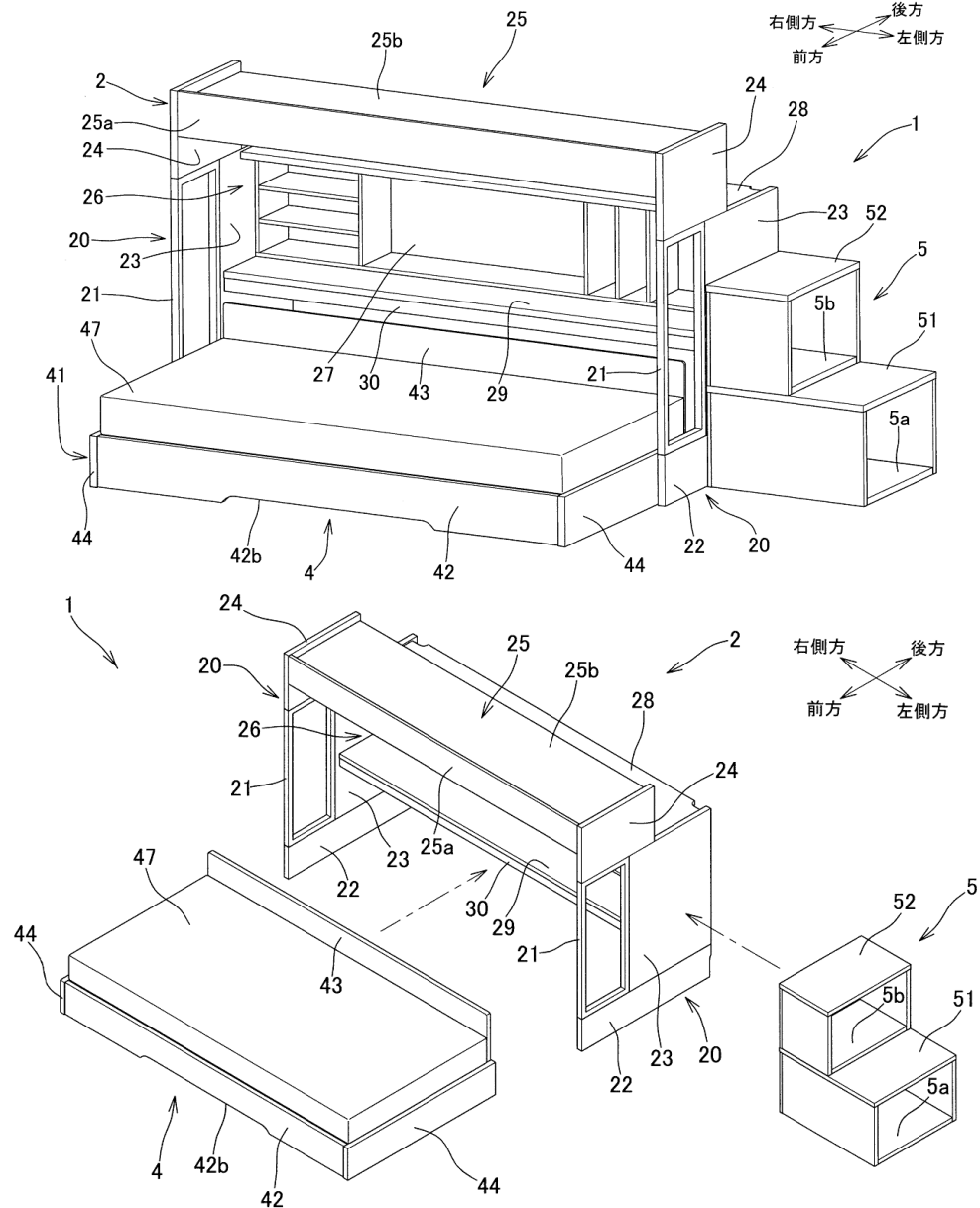
登録日

— (未登録)

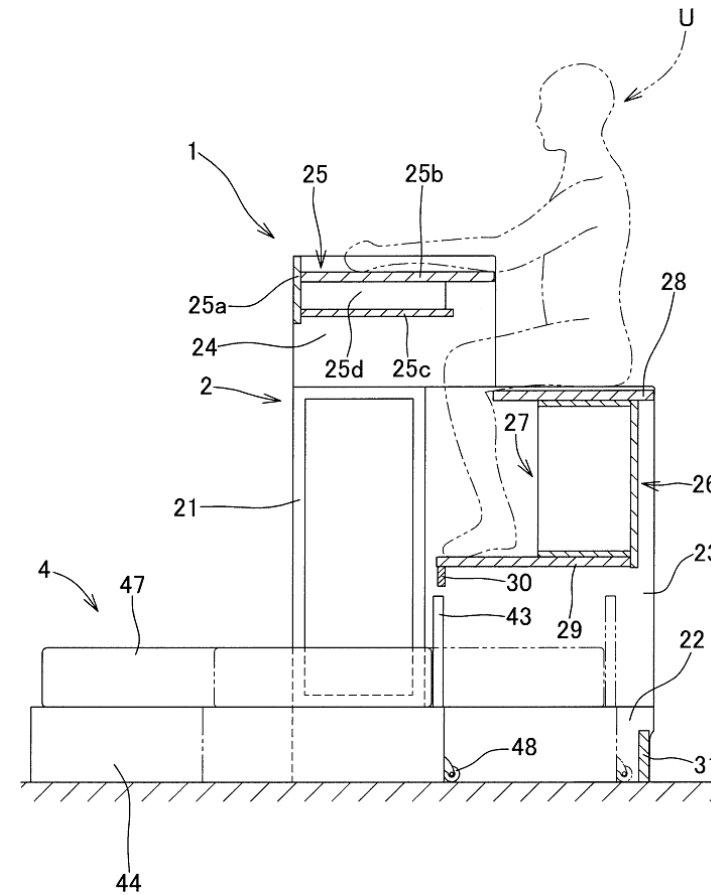
□本技術の採用イメージ



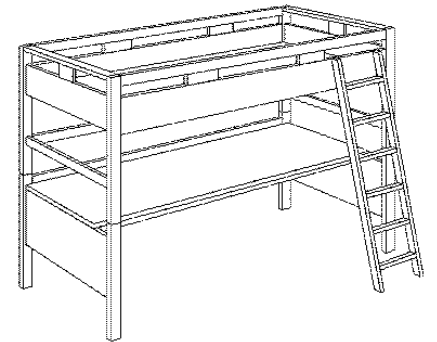
上段で勉強／仕事するベッドデスク



従来のベッドの下に籠るスタイルと比べ、
目線が高く開放的かつ部屋の照明で明るく快適なデスク環境の新しい形のベッドデスク



(従来のベッドデスク)



(B-1) 地震対策技術 什器の転倒防止装置

特許番号

特許第 7 1 6 4 9 7 7 号

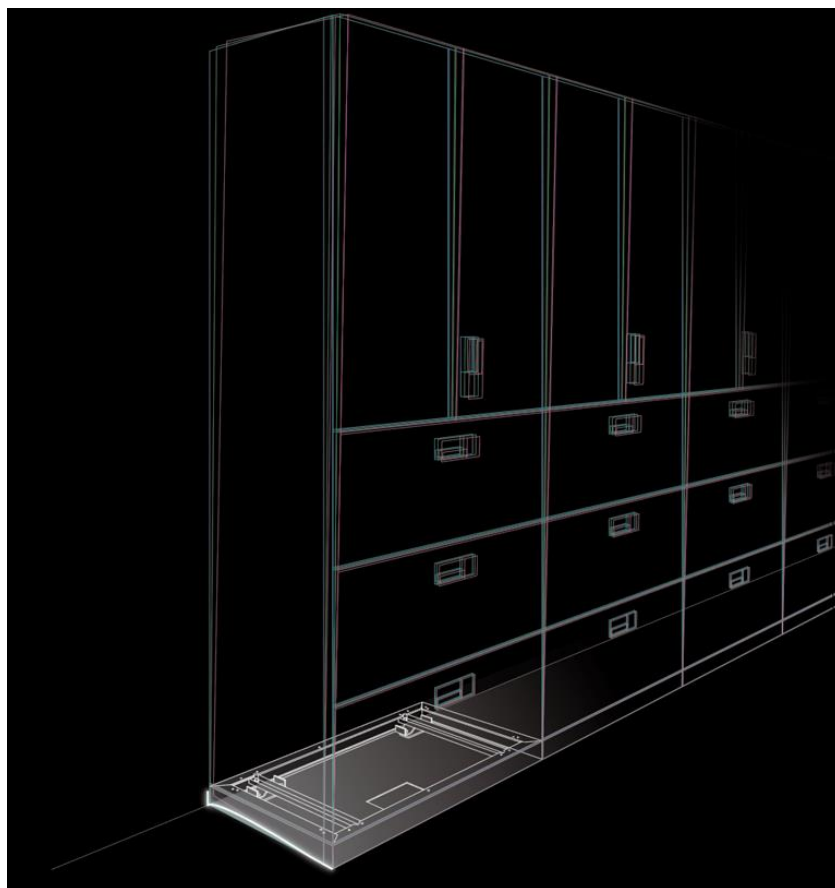
出願日

2018/06/29

登録日

2022/10/25

□ 本技術のイメージ



複数回の大地震に耐える転倒防止構造

転倒防止のメカニズム

地震による免震プレートの湾曲変形が各接合部への負担を軽減することにより、接合部の破断、引抜を防ぎ、転倒を抑制する当社独自技術です。

壁前設置タイプ(側面写真)



通常時

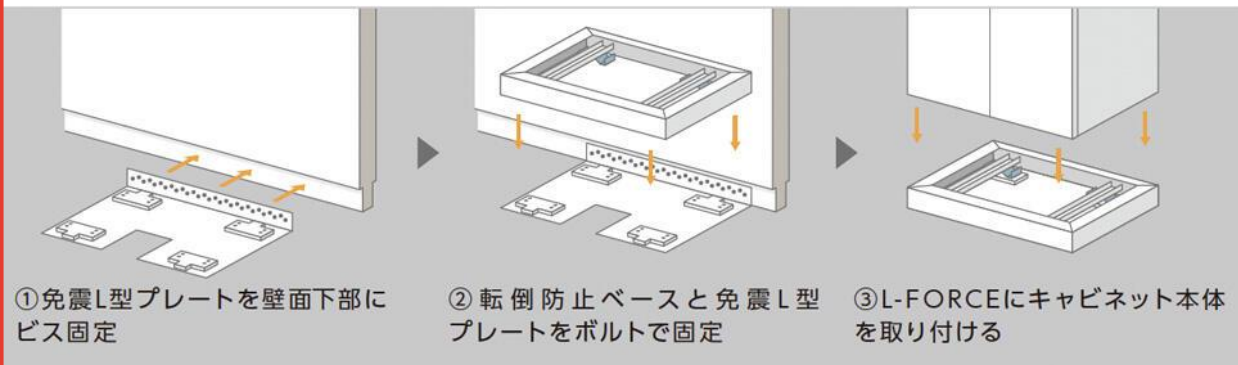


地震発生



免震プレートが湾曲・転倒防止

免震プレート



平常時



地震時



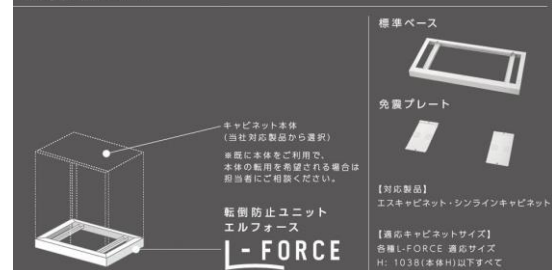
（従来の課題）

本震余震の2度の大地震が起こった際、
1度目の大地震でビスが引き抜かれ、2度目の大地震で転倒する恐れがある

（本特許技術）

免震プレートの弾性変形を利用して、固定ビスにかかる引き抜き力を大幅に軽減し、
ビスが引き抜かれず、2度目の大地震にも耐えうる

中間設置タイプ



中間置きの構造
特許第7575915号

(B-2) 地震対策技術 高耐震間仕切

特許番号

特許第6299153号、特許第6299152号ほか

出願日

2013/10/31

登録日

2018/03/09

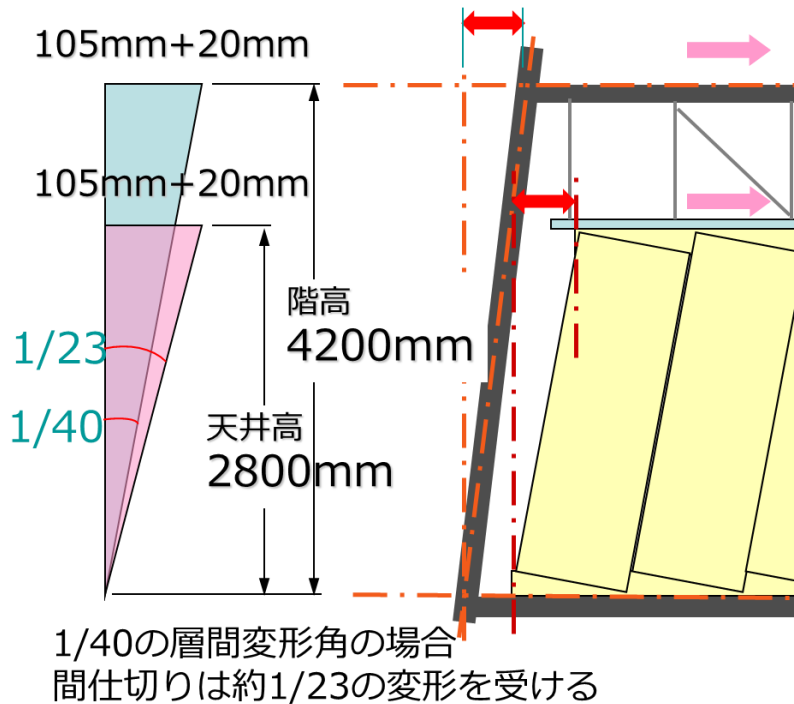
□本技術のイメージ



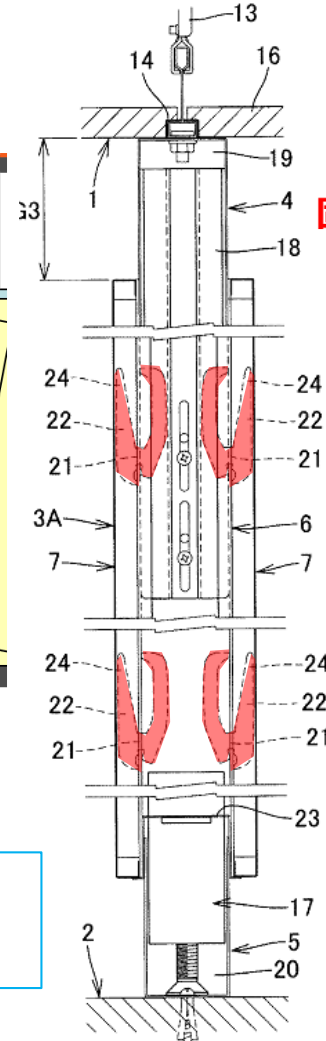
**大地震で間仕切パネルが脱落することによる災害を防ぎ、
避難経路も確保する間仕切パネル**

技術① パネル係止フック

層間変位追従性が高く、大規模地震が起きてもパネルが脱落しない構造



層間変位角1/40に追従可能に設置した支柱と、支柱の傾斜に伴い、パネルの片側が持ち上がっても脱落しないパネル係止フックの長さが特長

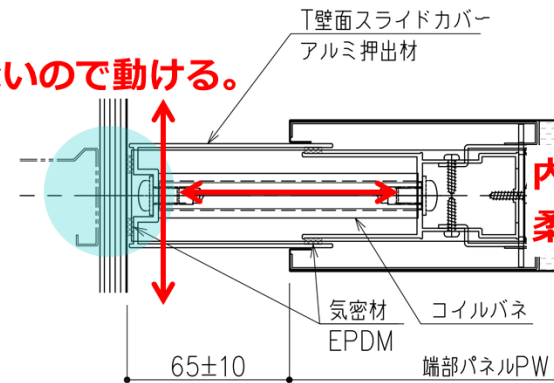


技術② 変位吸収機構

建築壁に固定しないことで、面内・面外いずれの方向にも追従して倒壊を防ぐ構造

高耐震間仕切

固定してないので動ける。

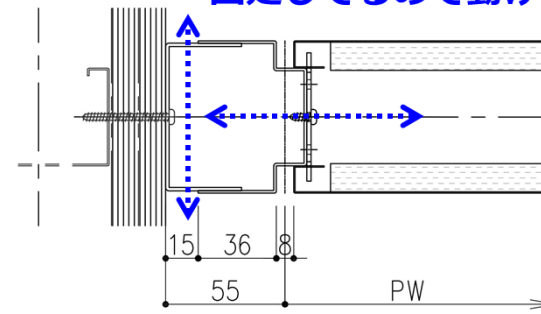


壁面に固定せず、バネで押し当てる構造で、壁面とパネルの相対変位を吸収し、さらに、天レールと壁面とのクリアランスを、天レールにスライド可能な天化粧部材で塞ぐ構造が特長

内部圧縮バネの伸縮で柔軟に変位に追従する

従来の間仕切製品

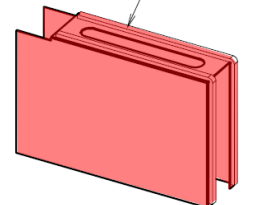
固定してるので動けない。



天レールと壁面のクリアランスを塞ぐ天化粧部材

T壁面天化粧を出し入れし引っ掛りなくスムーズに動くことを確認する

気密材を2辺貼付け
ルシーラ巾8×厚さ4



(B-3) 地震対策技術 天井制震間仕切

特許番号

特許第 6 3 7 5 8 6 1 号ほか

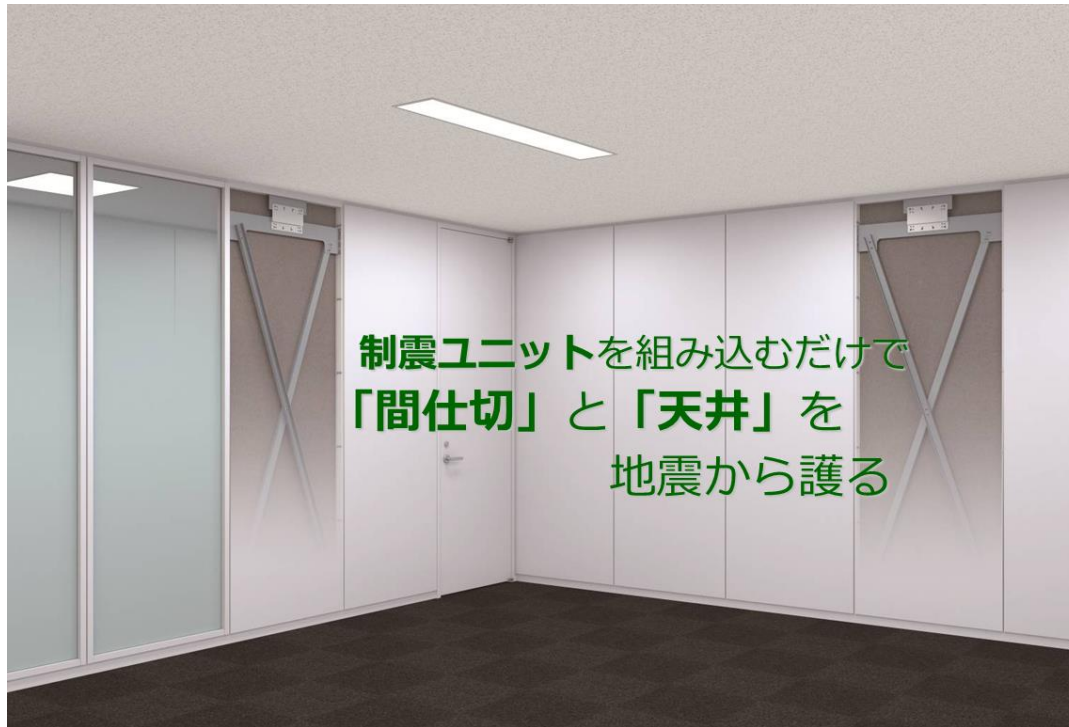
出願日

2014/10/17

登録日

2018/08/03

□ 本技術のイメージ

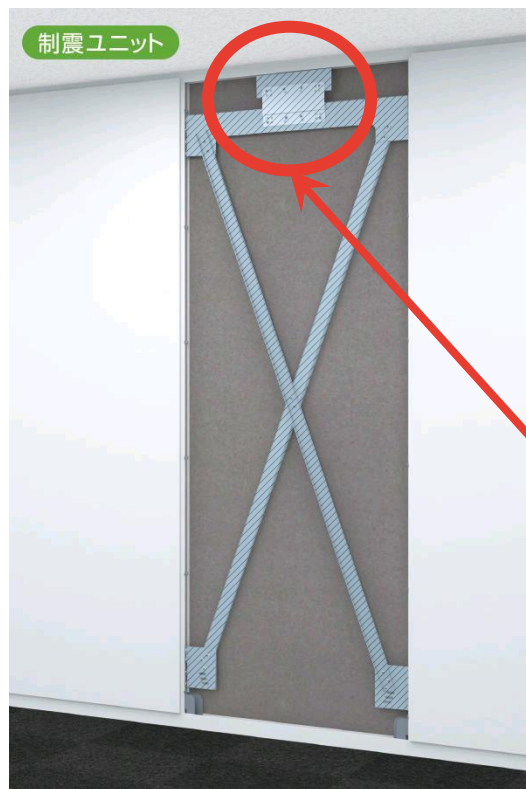


地震時に間仕切の揺れと天井の揺れを低減する耐震構造

地震時に間仕切や天井の揺れを熱エネルギーに変えて振動を吸収することで、
天井の揺れを50%以上低減し、大地震時に天井崩落のリスクを抑える

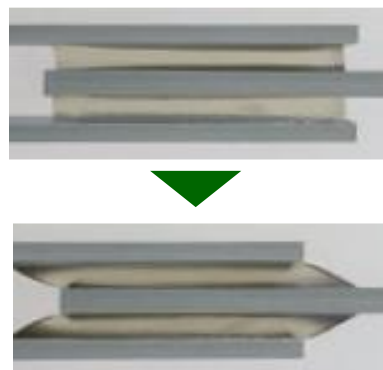
技術① 制震ユニット

特許第6375861号、特許第6540862号



天井とパネル構造体と
を粘弾性ダンパーで連
結した構造

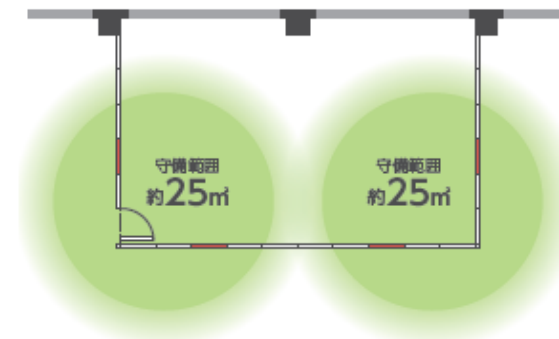
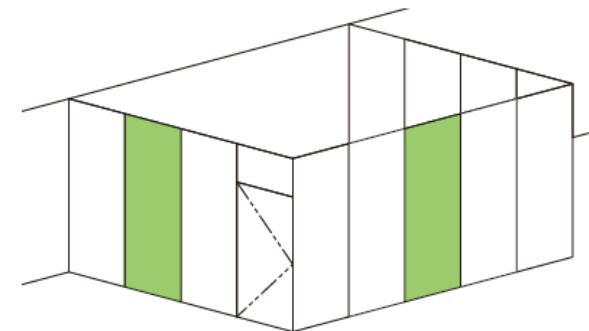
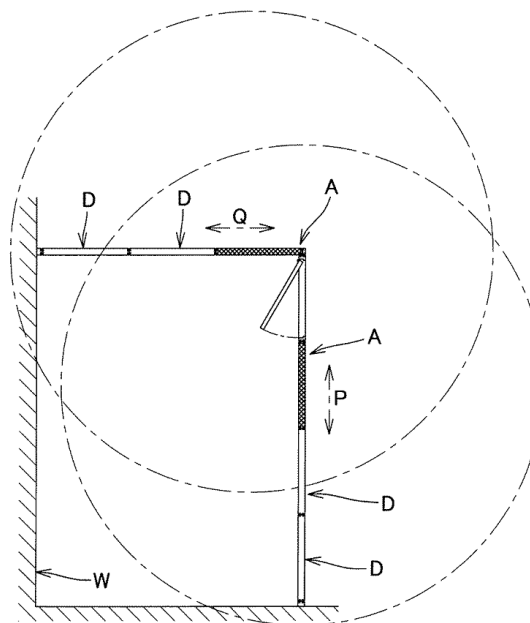
粘弾性体ダンパー



技術② 配置構成

特許第6540862号

直行する2方向に配置する
制震機能を備えるパネル構
造体の配置構成





お問合せ先
株式会社イトーキ 知的財産推進課 古賀
Mail : patent-info@itoki.jp

明日の「働く」を、**デザインする。**